

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			国の基準である「定員10名、児童1人当たり約3㎡以上」に対して、指導訓練室スペースが2.47㎡が必要となります。nicoの指導訓練室スペースは1.66㎡ありますので十分に確保されています。活動スペースと学習スペースを分けたことで、各々の活動や学習に集中できています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			国の配置基準児童「児童10人に対して2人以上の指導員」に対して、人員配置は常に達しているが、保育士、看護師、臨床心理士など、専門分野での経験や専門性を備えた職員配置を行っております。一人一人の動きがよく見えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	29%	57%	14%	nicoの出入口には階段があります。構造上階段を無くす事が出来ず、危険の無いよう階段上部に鍵付き扉を設置するなどの対応をしています。 また、階段使用時は危険の無いようスタッフ一同しっかり見守りしております。活動スペースは完全にバリアフリーで配慮しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			PDCAサイクルを心掛け、朝礼や終業前に全体で職員が共通の認識を持って支援を行えるように取り組んでいます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			アンケート調査を実施し、集計しご意見をもとに職員で話し合い、より安心し、楽しんでご利用いただけるように取り組んでおります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			評価だけでなく、周知の少なかった活動等を写真付きでまとめて公開致します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	86%	14%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			コロナ禍の為、研修はオンラインだったが、今年は7～8回研修に参加し、今後も説教的に研修に参加したいと考えております。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			相談支援員、市町村の保健師と情報の共有をし、保護者様のニーズや児童の課題を分析し個別支援計画を立てております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			契約時に保護者様にインテークシートを記入していただき、子どもの発達状況、適応状況を正確に把握し、個別支援計画作成に活かしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	86%	14%		職員全員で活動プログラムを立案しています。週固定のプログラムはありますが、季節に因んだイベントや行事を立案し、楽しみながら参加する事で、様々な経験や風習を学べるような活動を取り組んでおります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	86%	14%		月毎のプログラムは設定しているものの、平日、祝日、長期休みなど児童の利用人数や年齢別、利用時間に配慮し課題を定め支援を行っております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			個別活動から集団活動への移行、集団活動から個別活動への移行など児童の成長段階に応じて組み合わせ計画を作成している。又、関係機関とも情報の共有を行い計画に反映させております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	86%	14%		開始前、開始後に全員で支援の確認、各々の気付きや意見を必ず毎日行っております。次回の支援に繋がられるように心掛けて共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			※その日のうちにその場でスタッフ全員での共有を大事にしているため、シフト制ではなく週休2日をにしております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86%	14%		事業所独自の記録表を作成し、1日の活動記録・児童一人一人の児童記録・来客・特記事項・欠席時対応加算・その他必要記録を毎日記入しています。スタッフ同士のダブルチェックを徹底する事で、記録の忘れや、記入ミスが無いように取り組んでおります。記録表を法人で毎日共有し、気付きや支援への改善点など現場以外のスタッフの目も入れ支援の向上に繋げております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリングの際に児童の課題は更新されるので見直しを行い、計画の再作成を行っております。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	86%	14%		児童発達支援、放課後等デイサービスのガイドラインを職員全員が周知し、工夫しより良い支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			利用児童に応じて、職員全員の中でふさわしい者が参加しております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			利用前に、学校や保育園に伺い、入念に話し合いをしております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			相談支援員、市町村の保健師と情報共有と相互理解に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	57%	43%		当事業所では現段階ではそのような状況になっておりませんが、その際にはしっかりと情報を提供し、安心して移行して頂けるように努めて参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			積極的にセミナーや研修に参加していきたいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		57%	43%	コロナウイルスの情勢で自粛させて頂いております。コロナウイルス情勢で、今後、機会を作って行けるように努めて参ります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	72%	14%	14%	協議会に参加し情報共有させて頂いております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	86%	14%		送迎時やライン連絡、提供記録等で共通理解を図っております。伝える事は怠らざ行っておりますが、十分に理解していただいているとは限らないので、より一層努めて参ります。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			ペアレントトレーニングの研修に参加し、しっかり反映させていただいております。ペアレントトレーニングは重要だと常日頃より実感しており、今後も支援をしっかりと行って参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に丁寧に説明することを心がけております。不明な点があった際には、随時ご説明させて頂いております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			日頃から保護者の悩みの理解に努め、児童の様子や状況から、保護者の悩みをくみ取れるよう支援しております。適切な助言が出来るよう、職員で共有して努めております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	57%	29%	14%	コロナの状況をみながら、今年度は保護者が集まる機会を2度開催しました。保護者同士の連携を図るまでには至らなかったもので、今後も状況をみながら取り組んで参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86%	14%		苦情受付担当者（児童発達支援管理責任者）苦情解決責任者（管理者）を設定しております。苦情が発生した際には、職員全員で原因の究明と解決に努めて参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			毎月末に活動予定や内容をLINEで発信しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報には鍵付きの書庫で管理をし、十分に注意しております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			発達段階、発達状況を考慮し、意思の疎通や状況を保護者と入念に話し合い配慮を行っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	29%	42%	29%	コロナ情勢が落ち着いたら、地域のイベント等に参加したいと考えております。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	86%	14%		事業所出入口に常時掲示しています。又、契約時に必ず保護者に一読頂くか、マニュアル冊子持ち帰って頂き一読頂いておりますが、昨年同様保護者への周知が十分ではないので、もう一度確認して頂く予定です。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			通報訓練、避難訓練、消火訓練を年に二度行いました。その他にも、怪我や発熱時の応急処置の講習を児童に行いました。今年度は、訓練の事前学習として、3度ほど中央消防署へ見学に行かせていただきました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			今年度は管理者が研修に参加しました。今後は職員全員が、順次に研修の参加を考えております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	29%	57%	14%	身体拘束は「利用者本人の生命や身体を保護するため」緊急を要する場合に、切迫性・日代替性・一時性であることを条件に行うことを職員が共通認識し、行った際には記録に残すこととしております。対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制を取っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	71%	29%		契約時にアレルギーの有無の確認を怠らざっており、職員が共有し、十分に注意をしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			事例が発生した際には、綿密にミーティングを行い、ヒヤリハット・事故報告書に記載しております。